

2009年3月期決算説明会

2009年5月12日

日本システムウェア株式会社

取締役会長兼社長 多田 修人

目次

1. 前期の業績

- 全社業績およびセグメント別業績
- 財政状況
- 前期のまとめ

2. 今期の計画と今後に向けて

- 現状認識
- 今期の施策
- 通期の計画
- 中期的成長戦略

3. CSR活動について

1.前期の業績

2009年3月期業績

景気減速の影響により、減収減益となった

(単位:百万円)

	2009/3期	前期との比較	
		2008/3期	増減率
売上高	31,185	33,173	△6.0%
売上原価	26,862	28,229	△4.8%
売上総利益 同率	4,322 13.9%	4,944 14.9%	△12.6% △1.0p
販売費及び 一般管理費	3,477	3,770	△7.8%
営業利益 同率	845 2.8%	1,173 3.5%	△27.9% △0.7p
経常利益 同率	832 2.7%	1,163 3.5%	△28.4% △0.8p
当期純利益 同率	508 1.6%	1,173 3.6%	△56.6% △2.0p

(個別業績数値)

セグメント別業績

全セグメントとも減収減益となった

(単位:百万円)

		2009/3期	前期との比較	
			2008/3期	増減率
ITソリューション	売上高	17,200	17,748	△3.1%
	売上総利益 同率	1,928 11.2%	2,353 13.3%	△18.0% △2.1p
プロダクト	売上高	12,237	13,185	△7.2%
	売上総利益 同率	2,199 18.0%	2,317 17.6%	△5.1% 0.4p
システム機器販売	売上高	1,747	2,240	△22.0%
	売上総利益 同率	195 11.2%	273 12.2%	△28.7% △1.0p

(個別業績数値)

セグメント別業績（ITソリューション）

（単位：百万円）

		2009/3期	前期との比較	
			2008/3期	増減率
システム構築	売上高	9,774	9,651	1.3%
	売上総利益 同率	778 8.0%	1,386 14.4%	△43.8% △6.4p
オンサイト運用	売上高	2,360	2,475	△4.7%
	売上総利益 同率	453 19.2%	367 14.9%	23.3% 4.3p
アウトソーシング	売上高	4,799	5,346	△10.2%
	売上総利益 同率	813 16.9%	946 17.7%	△14.0% △0.8p
その他	売上高	266	274	△2.7%
	売上総利益 同率	△116 △43.6%	△346 △126.3%	— —

- ・基盤、インフラ系は堅調
- ・官公庁向けは大型案件の反動で落ち込み
- ・ビジネスソリューション系は受注に苦戦
- ・特定不採算案件の発生
- ・運用系は既存顧客を中心に展開し、利益確保
- ・データセンターの増床分の受注遅れ
- ・ストリーミング事業撤退に伴い、赤字幅縮小

（個別業績数値）

セグメント別業績(プロダクト)

(単位:百万円)

		2009/3期	前期との比較	
			2008/3期	増減率
組込みソフトウェア開発	売上高	6,196	6,940	△10.7%
	売上総利益 同率	1,084 17.5%	1,251 18.0%	△13.3% △0.5p
LSI設計	売上高	3,924	4,032	△2.7%
	売上総利益 同率	735 18.7%	651 16.2%	12.9% 2.5p
その他	売上高	2,116	2,212	△4.3%
	売上総利益 同率	378 17.9%	414 18.7%	△8.5% △0.8p

- ・携帯電話開発は事業環境が厳しい中、グローバル対応機種開発が堅調に推移し、減少に歯止め
- ・カーエレ系は大幅に縮小方向、品質問題で利益を圧迫
- ・プラットフォーム系は情報家電に翳り、稼働率悪化
- ・LSI設計は底堅く推移

(個別業績数値)

財政状況

	2009/3期	2009/3 第2四半期 累計	2008/3期
流動比率	116.4%	144.3%	138.8%
固定比率	102.4%	98.3%	95.6%
有利子負債依存率	25.8%	25.3%	27.4%
デット・エクイティ比率	0.51倍	0.50倍	0.57倍
自己資本比率	50.7%	50.7%	48.4%

(個別業績数値)

- ・有利子負債の圧縮
 - － 7億2千万円返済し、期末借入残高55億8千万円
- ・自己資本比率の改善
 - － 純資産合計114億円
 - － 自己資本比率 50.7% (前年比2.3ポイント改善)

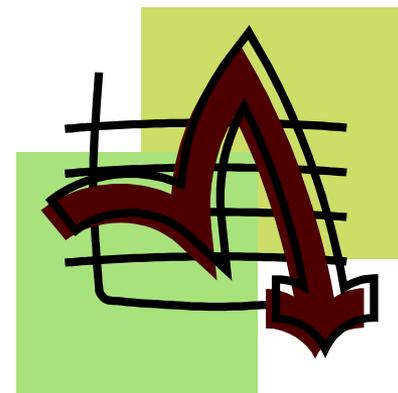
前期のまとめ

- 受注不足による稼働率の低下
- コストダウン要請による利益圧迫
- 特定不採算プロジェクトの発生

2. 今期の計画と今後に向けて

現状認識

- 受注環境はさらに厳しく
 - 製造業比率が高い
 - コストダウン要請が続く
- 情報サービス業界は成熟期を過ぎている



今期の施策

- 内製化の推進
- 不採算プロジェクト“ゼロ”へ
- グループ戦略の強化
- 既存顧客との関係強化
- セグメント別施策

内製化の推進

- 外部リソースから内部リソースへのシフト
- 子会社との連携強化
- 協力会社の絞り込みによる発注集約

不採算プロジェクト“ゼロ”へ

- PMO専任部隊の設置による全社的な体制強化
- プロジェクトのモニタリング
- 問題プロジェクトの分析結果を踏まえたマネジメント手法の改善と運用徹底

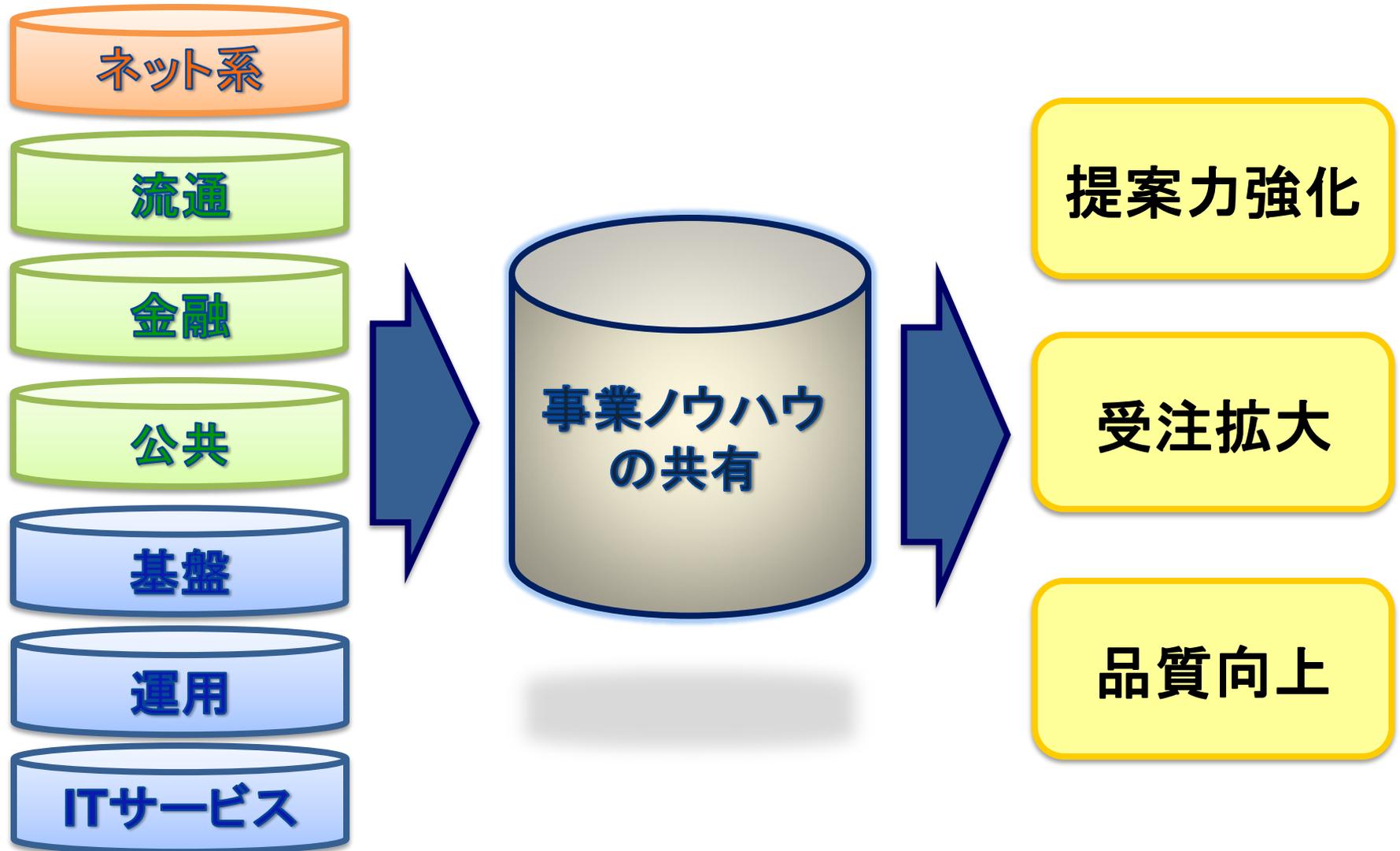
グループ戦略の強化

- グループ連携を強化する経営体制へ
- 営業面とリソースの有効活用
- 緊密な情報交換による事業の推進

既存顧客との関係強化

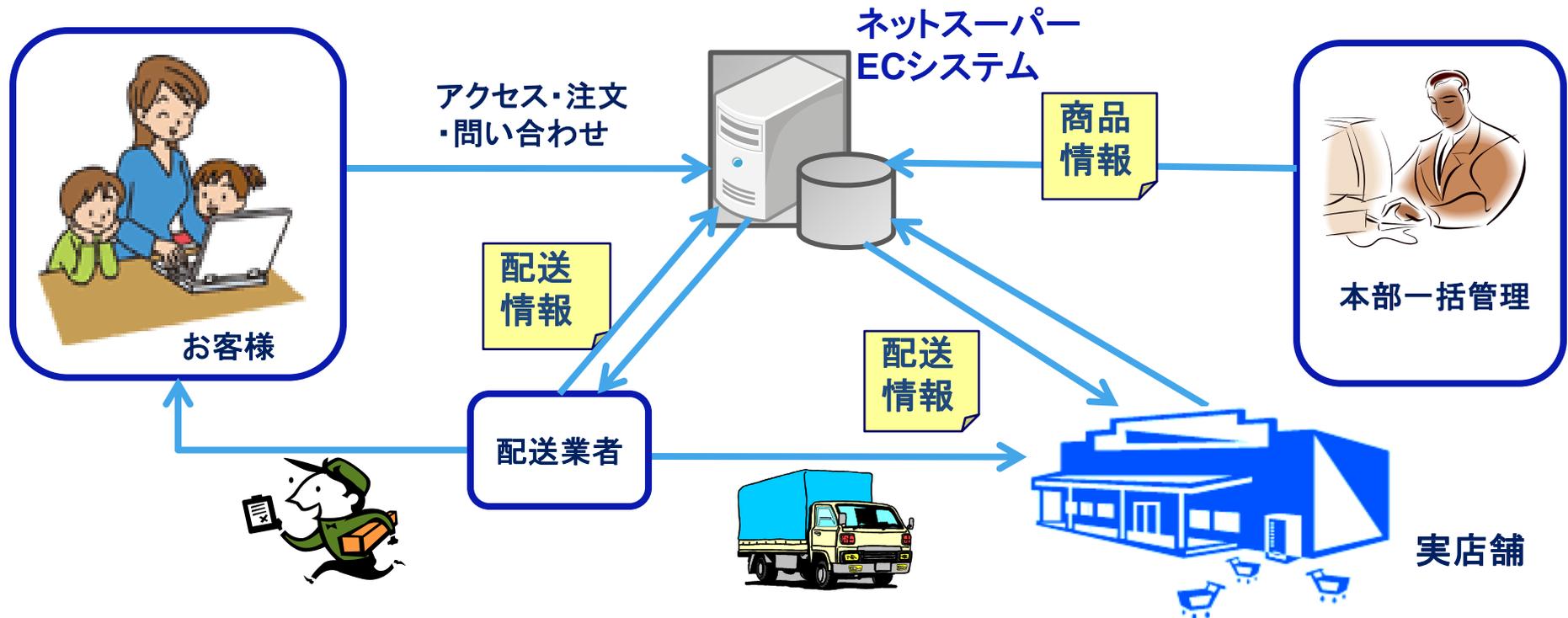
- トップ経営層を含めた営業体制
- 主要パートナーとして信頼関係の向上

セグメント別施策 (ITソリューション)



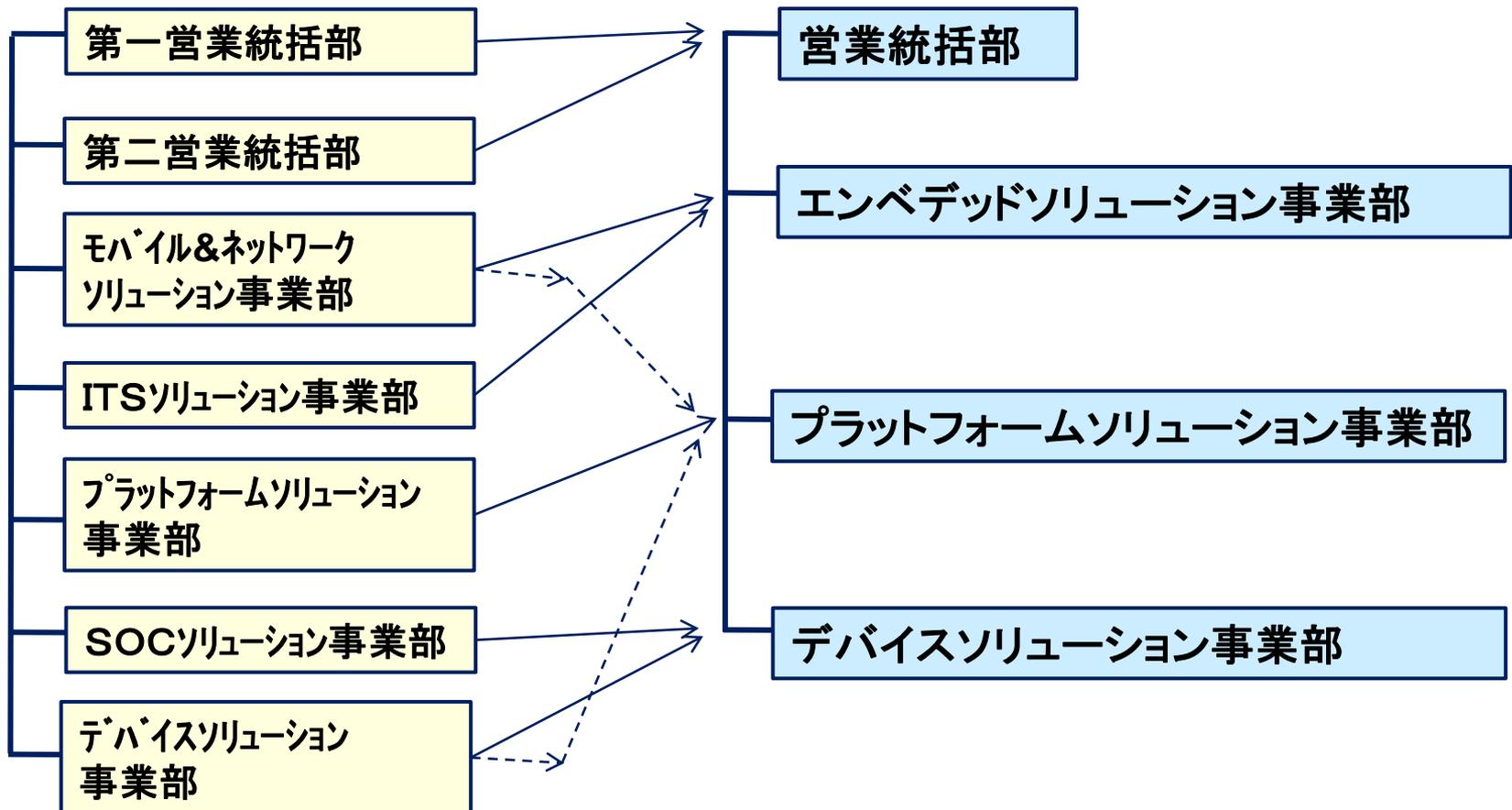
セグメント別施策 (ITソリューション)

ECサービスを切り口とした受注拡大と
管理体制強化による利益確保



セグメント別施策(プロダクト)

組織改正による事業推進体制の強化、効率化



セグメント別施策(プロダクト)

OPNF(オープン・ニューフィールズ)PJの継続的推進

→有望分野毎に事業を推進。新たに「アミューズメント
機器」「官公庁向けシステム機器」に分野を拡大



通信インフラ



デジタル家電



セキュリティ



モバイル

通期の計画(個別)

事業環境がさらに悪化する中、利益を確保しながら、次のステージに備える

(単位:百万円)

	2010/3期	前期との比較		
		2009/3期	増減額	増減率
売上高	25,000	31,185	△6,185	△19.8%
売上原価	20,920	26,862	△5,942	△22.1%
売上総利益 同率	4,080 16.3%	4,322 13.9%	△242 2.4p	△5.6% —
販売費及び 一般管理費	3,330	3,477	△147	△4.2%
営業利益 同率	750 3.0%	845 2.8%	△95 0.2p	△11.3% —
経常利益 同率	700 2.8%	832 2.7%	△132 0.1p	△15.9% —
当期純利益 同率	400 1.6%	508 1.6%	△108 0.0p	△21.4% —

通期の計画(セグメント別・個別)

(単位:百万円)

		2010/3期	前期との比較		
			2009/3期	増減額	増減率
ITソリューション	売上高	14,700	17,200	△2,500	△14.5%
	売上総利益 同率	2,320 15.8%	1,928 11.2%	391 4.6p	20.3% —
プロダクト	売上高	9,100	12,237	△3,137	△25.6%
	売上総利益 同率	1,640 18.0%	2,199 18.0%	△559 0.0p	△25.4% —
システム機器販売	売上高	1,200	1,747	△547	△31.3%
	売上総利益 同率	120 10.0%	195 11.2%	△75 △1.2p	△38.5% —

通期の計画(連結)

(単位:百万円)

	2010/3期	前期との比較		
		2009/3期	増減額	増減率
売上高	26,300	32,502	△6,202	△19.1%
売上原価	21,730	27,607	△5,877	△21.3%
売上総利益 同率	4,570 17.4%	4,894 15.1%	△324 2.3p	△6.6% —
販売費及び 一般管理費	3,690	3,848	△158	△4.1%
営業利益 同率	880 3.4%	1,046 3.2%	△166 0.2p	△15.9% —
経常利益 同率	780 3.0%	977 3.0%	△197 0.0p	△20.2% —
当期純利益 同率	410 1.6%	591 1.8%	△181 △0.2p	△30.7% —

通期の計画(セグメント別・連結)

(単位:百万円)

		2010/3期	前期との比較		
			2009/3期	増減額	増減率
ITソリューション	売上高	16,000	18,545	△2,545	△13.7%
プロダクト	売上高	9,100	12,208	△3,108	△25.5%
システム機器販売	売上高	1,200	1,747	△547	△31.3%

中期的戦略

2007

2008

2009

2010

2011

2012

[年度]

現 中期経営計画

次期 中期経営計画



既成概念に捉われない
新規事業の創造と立ち上げ

3.CSR活動について

CSRへの取り組み

「顧客」「株主」「従業員」「地域社会」への魅力を
バランスよく高める価値創造経営を推進

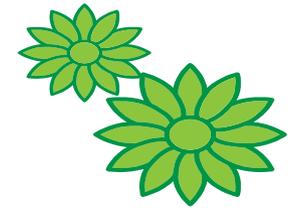
- コーポレートガバナンス
- 社会活動
- 環境への取り組み
- 障がい者雇用
- ワークライフ・バランス



具体的活動と今後に向けて



地域清掃



献血



花植

“豊かな社会の実現へ”
NSWはCSR活動を地域と共に

NSW

Humanware By Systemware